

東日本ユニオン よこはま

JR東日本労働組合
横浜地方本部
発行者/ 松田 和秀
編集者/ 教育・広報部

年末年始期間好調

JR東日本は、1月5日に「年末年始期間のご利用状況（12月28日～1月4日までの8日間）」を発表しました。期間中、天候にも恵まれ期間を通じて概ね順調な運転を行い、新幹線・特急列車等の利用状況は、368.8万人で前年比は101%で前年を上回りました。ピーク日は、帰省が12月30日で35.9万人、Uターンが1月3日で36.1万人でした。近距離のお客さまのご利用状況（JR東日本管内の近距離きっぷの発売枚数）は、4,340万枚で前年比101%と発表しました。

●期間中の新幹線・特急列車等のご利用状況（主要16区間計）

※12月28日～1月4日までの8日間

	2017年	2016年	前年比	新幹線	在来線
下り	192.3万人	188.3万人	102%	102%	102%
上り	176.5万人	177.3万人	100%	99%	100%
計	368.8万人	365.6万人	101%	101%	101%

●主要駅の近距離きっぷの発売実績

※12月28日～1月4日までの8日間

駅名	発売枚数	前年比	備考
新宿	274.0万枚	102%	
東京	117.3万枚	106%	年始ご利用増
東川口	8.9万枚	119%	イベント開催
舞浜	41.2万枚	104%	東京ディズニーリゾート
松本	4.5万枚	105%	新規商業施設開業

8年連続で前年を上回ったのは、現場で働く社員の努力の結果だ！

第1・第2四半期決算(単体)は、6期連続の増収増益かつ全ての利益が過去最高を達成し

夏期間及び年末年始ご利用状況が好調であるならば

これまで頑張ってきた社員に対して文面での感謝でなく2018春闘で労を形として報いるべきだ！



共に職場から声をあげよう！！